

製品名: α 平滑筋アクチンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03761**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 42 kDa; Observed MW: 42 kDa

抗原情報

遺伝子名	ACTA2
別名	ACTA2; ACTSA; ACTVS; GIG46; Actin; aortic smooth muscle; Alpha-actin-2; Cell growth-inhibiting gene 46 protein; α -SMA
遺伝子 ID	59
SwissProt ID	P62736
免疫原	ヒト α 平滑筋アクチンの合成ペプチド

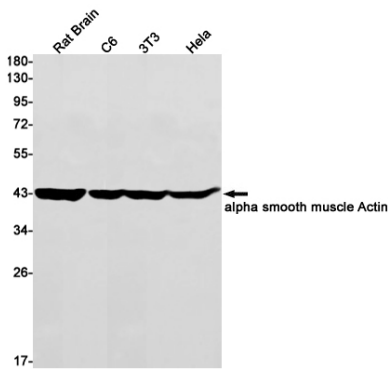
背景

プラークタンパク質と細胞間接着を媒介する中間径フィラメントの相互作用に関与する。ACTA2 の欠損は、家族性胸部大動脈瘤 6 型 (AAT6) [MIM:611788]の原因である。ACTA2 の欠損は主に、「中膜壊死」または「エルドハイム嚢胞性中膜壊死」として知られる特徴的な組織学的所見を伴い、弾性線維の変性と断片化、平滑筋細胞の喪失、好塩基性基質の蓄積がみられる。

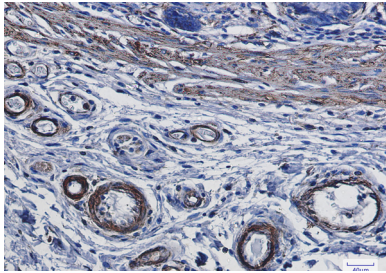
研究分野

シグナル伝達

画像データ



α 平滑筋アクチン抗体を使用したラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の α 平滑筋アクチンのウェスタン プロット分析。



α 平滑筋アクチン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。